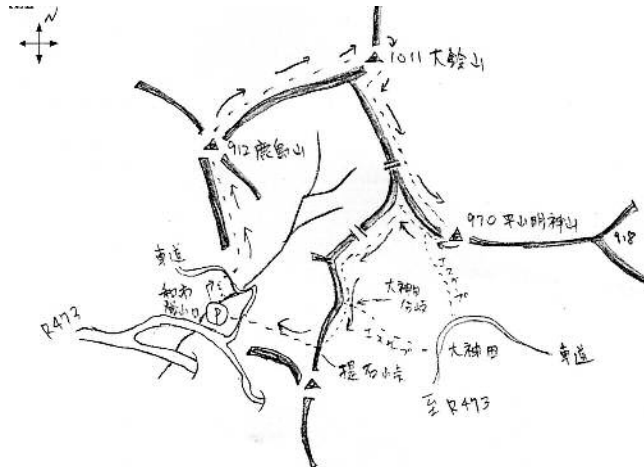


鹿島山-大鈴山-平山明神山

トレーニング(体力・読図・リハビリ)

2016年3月26日

L: 齋藤、石川、神谷



アクセス

R257 設楽町田口より R473 を南下。堤石トンネル手前の和市登山口に駐車。10台程駐車可。

3月26日(土) 晴れ

へびやハチ、ヒルの影響が少ないと思われるこの時期を選んでの山行。参加者が山初心者のみのため、体力と読図トレ、怪我療養中の石川さんのリハビリを兼ねた山行として計画した。

登山口を 5:35 に出発。鹿島山までの急登を 1 時間で登りつめた。気温が低く、時折冷たい風が吹くので、汗をかいた顔や手が非常に冷たく感じられた。

ろくな休憩もしないまま、鹿島山から大鈴山まで約 30 分。

またまたろくな休憩をしないまま、平山明神山まで向かう。途中、リッジ状に切れた岩稜があり、落ちたら大変だな、と思いながら足を進めた。



切れ落ちた岩稜の手前で景色を楽しむ二人

平山明神山に到着後、「お腹が空いた。ご飯食べたい、ご飯食べたい」と神谷さんと齋藤が言い出したので、ここで朝食

を取る事にした。カップラーメンやコーヒーを食し、近くには齋藤の歩荷水 12L も散らかっていたため、後続の方に「朝から宴会ですか？」と笑われた。

約 50 分の休憩後、堤石峠に向かって出発。出発後 15 分も経たないうちに、ん？なんか違うぞ。さっきはこんな岩壁無かったよね、戻ろう戻ろう。と登り返すと、やっぱり間違えていた。知らずに今回のエスケープルートである大神田方面に向かってしまったがちなので、気を付けねばならないと思った。

ルートを取り戻し、堤石方面にコンパスを合わせ、地図上には小ピークが 4 つあるね、と互いに確認しながら、ピークを越えていく。「はい、これ 1 つめ」「はい、これ 2 つめ」「ん、そうかな？地図で見るより近すぎるから、隠れピークじゃない？」なんて会話が楽しい時間でもある。

なおかつ、この小ピークたちはロープあり、鎖ありの岩の混じった箇所であったため、敢えてそれらを使わず、岩登りの練習ができたのも良かった。

左足の膝を療養中の石川さんは、小ピークの急な下りで、少し悪化させてしまったようであり、途中からは、違和感のある歩き方をしていた。リハビリ失敗？

それでも無事に堤石峠まで到着し、後は安全なルートで登山口に戻った。

ガイドブックには道が不明瞭のため、

熟練者と行くルートである、と書かれていたが、実際には不明瞭な箇所もあるが、テープがついているので、本当の初心者で無い限り大丈夫だろうと思われるコースであった。

<タイム>

和市登山口 P(5:35)-鹿島山(6:35)-大鈴山(7:06)-明神山(8:17~9:10)-堤石峠(11:03)-和市登山口 P(11:24)

(齋藤孝文 記)